

美空 ~MISORA~ 第193号

発行日:2025年 9月 1日

発行者:NPO 法人 電線のない街づくり支援ネットワーク
理事長 高田 昇

・活動報告

- 合同理事会・東京理事会 …… 1
- ・2025 夏インターン生の企画紹介 …… 2
- ・第 13 回無電柱化推進展の報告 …… 3
- ※講演時の動画紹介（限定公開）など
- ・【インターン企画】多言語ワークショップ …… 11

特定非営利活動法人

電線のない街づくり支援ネットワーク
THE NETWORK FOR NON POLE COMMUNITY

【活動報告】

2025 年 8 月 7 日(木)17:00~17:30

東京理事会

WEB: Cisco Webex

参加者: 7 名

1. 伊津支部長より

- ・本日の東京活動委員会の予定の確認

2. 10 月の無電柱化街並み見学会について

- ・10/16 で決定。
- ・八王子市で進める予定。

3. 11 月 10 日の無電柱化の日イベントについて

4. 次回の予定 ※WEB のみ

9/18 (木)	17:00~17:30	東京理事会
	17:00~18:00	合同理事会

2025 年 8 月 7 日(木)17:30~18:00

合同理事会

WEB: Cisco Webex

参加者: 9 名

1. 事務局報告

7/23(水)~25(金) 第 13 回無電柱化推進展

→東京ビッグサイト東展示棟

7/30(水)国交省、令和 7 年度第 1 回無電柱化推進技術検討会

8/7 (木)東京理事会、合同理事会、東京活動委員会

9/4 (木)無電柱化面整備WG 10:00~11:30

9/18(木)東京理事会・合同理事会 (WEB のみ)

10/16(木)無電柱化街並み見学会→八王子市を予定。

10/25(土)国交省関連の無電柱化の日イベントを予定。全国地方新聞社連合会が入札。

→東京理事会で、セミナーを開催予定

11/8 (土)大阪国道事務所の無電柱化イベント(予定)

11/4 (火)~11/10(月)北海道全道一斉パネル展

11/21(金)首長会第 3 回勉強会 (下関)

大阪 4 名 (長期 2 か月 2 名、短期 2 週間 1 名、短期 3 日 1 名)、東京 1 名 (長期 2 か月 1 名)

2. 第 13 回無電柱化推進展の振り返り

- ・以下の内容は、あくまでも個人的な感想・意見

【良かった点】

- ・ミニセミナー、14 講演をなんとか終わらせることができた。→次項に詳細あり。
- ・「無電柱化小冊子 7」、結構持って帰ってもらった。
- ・「美空」第 191 臨時号を作ったのはよかった。
- なかなか壁面のパネルを説明するのは難しいので、事前に解説の補完をつくったのはよかった。
- ・昨年と同じ壁面パネルだったが、結構立ち止まってみていただくひが多かった。
- 特に、トレンチャーと繊維さや管が多かった。
- ・モニター上にパネルを設置して、講演者とタイトルを設けたのはよかった。

【ミニセミナーでの今後の注意点と改善点】

- ・会場で運営した際、パワーポイント内での動画(音声)が動かなかった。機種との相性か。
- ・音響がまだまだ弱い。←強いアンプがあれば克服できるかも。
- ・後ろだとマイクの音が聞こえない。スピーカーを後ろにも置くなどの配慮が必要なのでは。
- ・もっとミニセミナーのスケジュールが常にわかるようにすべき(前川理事)
- ・後ろの聴衆がモニター画面の文字をみるには少し小さい。やはりもう 1 サイズ上のモニターが必要か。
- ・あまり役に立っていなかったかもしれないが、今回は会場の様子を SNS で毎日発信した。←主にフェイスブック・Instagram など

【小冊子について】

- ・「小冊子 7」は、よくできた内容。営業にもっていくのに最適。「好事例集」も事例紹介にはよくできた冊子だと思う。
- ・小冊子をよくするために新たに提案された要素
- 一般市民にやさしく伝える構成(例:写真・図・Q&A 形式)

- 支部や会員企業・電線管理者の協働実績紹介
- 「命を守る無電柱化」に対する NPO の立場と提案の明示

【協賛展示・発表について】

- ・ 概ねうまくいった。位置はこれ以上でもこれ以下でもという範囲。来年は協賛企業さまにも意見をいただきながら更なるよき展示を検討したい。

3. 北海道支部の意見紹介について

- ・ 添付の資料をもとに村山支部長が説明
- ・ 内閣府「防災庁」への無電柱化アプローチ
- ・ 2026 年 5 月開催予定の北海道フォーラムに向けての準備

4. 理事報告・その他情報

- ・ 他団体の情報など
- ・ 第 11 回全国技術委員会 OSAKA は、9 月 22 日(月) 15:00~16:45 大阪市立生涯学習センター5 階第 6 研修室で行います。内容はこれから。
- ・ 無電柱化の日セミナーは、日程を含めて検討しています。

決まり次第、詳細はご連絡致します。

5. 次回の予定

9/18 (木)	17:00~17:30	東京理事会
	17:30~18:00	合同理事会
※WEB のみ		

2025 今夏インターン生の企画紹介

今年の 8 月より来ているインターン生が進めている企画を何件かご紹介させていただきます。



毎年インターン生がやっている「無電柱化（※電線・電柱を地下に埋設する取り組み）」の認知度調査を今年も実施します！

何かと問題のある現代の日本で無電柱化なんて…と思う方もいるかもしれませんが、電柱をなくすことで得られるメリットをちゃんと知ることができれば電柱が多すぎることに對して問題意識を持ってくれる方が増えてくれると思います！

次頁の QR コードを読み込むことでアンケートのページに飛ぶことができます。数分で回答できるので、ぜひ協力していただきたいです！

お知り合いの大学生のかたがいたら是非ご協力を！



アンケート調査の QR コード



無電柱化された街並み（埼玉・川越）

これらは社会インフラとして長年議論されてきたものの、実際にどれほど大学生のみなさんに知られているかはまだまだ分かっていません。今回、自分たちの目線で「今どれくらい情報が届いているのか」を把握し、分析レポートとしてまとめます。

ご多忙のところ恐縮ですが、ぜひご協力をお願いいたします。

一人ひとりの回答が、無電柱化の未来を考える貴重なデータになります！

[無電柱化知名度調査アンケート\(大学生向け\)](#)



今年の夏もインターン生が企画した無電柱化フォト&ムービーコンテストを企画し、開催いたします！11 月 10 日に賞の発表をいたします。応募お待ちしております。

[第 5 回無電柱化フォト&ムービーコンテストの詳細](#)

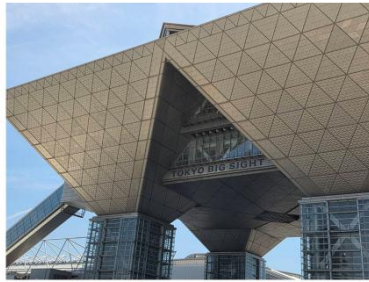
東京から参加しているインターン生が NPO ホームページに掲載している「[無電柱化とは](#)」を読んでまとめました。お時間のあるときには是非ご一読下さい！

[【2025 夏インターン生ブログ】無電柱化についての考察](#)

第13回無電柱化推進展の報告

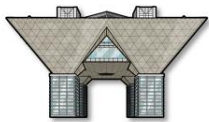
メンテナンスレジリエンスTOKYO

2025年7月23日(水)~7月25日(金)



WEB : Cisco Webex

電線のない街づくり支援ネットワーク
THE NETWORK FOR NON POLE COMMUNITY



東京ビッグサイト

第13回無電柱化推進展の報告

魅力あふれる展示・配布物・会場での催事紹介

NPOブースは、
東6ホール 6-F04

昨年と同様に**巨大パネル**で無電柱化の低コスト事例紹介を紹介！ 冊子で解説も



展示場所を設けて
無電柱化小冊子7
低コスト好事例集
を配布します！

モニターを使って
無電柱化ミニセミナー
自社製品発表会
広告CM
NPO無電柱ネットの紹介
を致しました！

ミニセミナーは、無電柱化を推進する市区町村長の会 令和7年度第1回勉強会も兼ねて実施致しました！

広いスペースを利用して、協賛展示企画を実施！

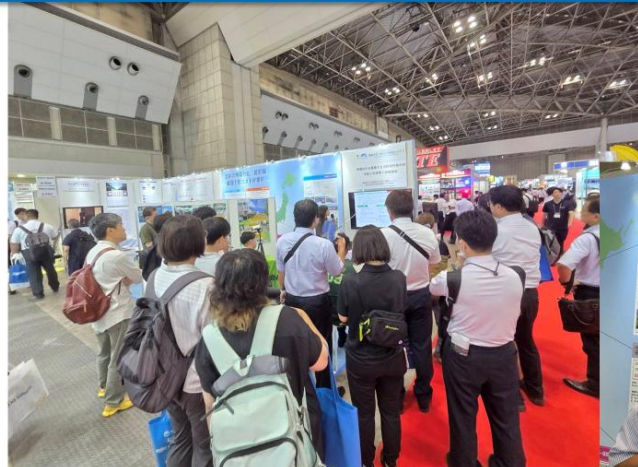
- ①協賛展示(未来工業さま)・NPOの活動紹介のパネル②協賛展示(オーコさま)
- ③パネルとカタログ、PCを使つての動画視聴(東京都省エネ・再エネプラットフォームさま)
- ④(①の裏側のパーテーションにポスター展示)虹技さま
- ⑤協賛展示(シンテックさま)



【講演者一覧】

国土交通省 道路局
国土交通省 都市局
東京都 都市整備局
国土技術政策総合研究所
国研寒地土木研究所
(一財)日本みち研究所
北海道開発局
海外事例紹介1・2
松原隆一郎副理事長
井上事務局長
千葉県芝山町事例紹介
その他国内事例紹介
会員企業製品紹介

豪華な講師陣が集結！首長会勉強会も兼ねたミニセミナー



1日4~5講演 1講演30分程度で構成

大集結!!

無電柱化の専門家による楽しく、ためになる情報がいっぱい！



企業の製品発表も実施(協賛)

時間	7/23(水)	7/24(木)	7/25(金)	時間
10:30	無電柱化推進展ミニセミナー スケジュール	10:30～11:00 「北海道における無電柱化の日イベントの紹介」(WEB) 国土交通省 北海道開発局 建設部 道路維持課 防災第1係長 矢野 洋介	10:30～11:00 「無電柱化の取組について」 国土交通省 道路局 環境安全・防災課 課長補佐 藤井久暢	10:30
11:00				11:00
11:20		11:20～11:50 「無電柱化推進のあり方検討委員会」で問題になっていること 放送大学教授・当NPO副理事長 松原隆一郎	11:20～11:50 「★無電柱化最前線★～住宅開発での無電柱化事情～」 NPO無電柱ネット理事・事務局長 井上利一	11:20
11:50				11:50
13:10	13:10～13:40 「面整備における無電柱化に関する取組について」 国土交通省 都市局 都市計画課 開発企画調整官 江川 亜由美	13:10～13:40 「千葉県 芝山町 川津場地区(田園型居住用地創出拠点)官民連携事業における無電柱化の取組」 芝山町役場 企画空港政策課 市街地整備係 係長 平山健太郎	13:10～13:40 NPO会員企業製品発表 「高圧水(海水)を用いたFloating工法とPLUMETTAZ社のWATUCABの紹介」 エイテック株式会社 小林正資	13:10
13:40				13:40
14:10	14:10～14:40 NPO会員企業製品発表 「ダクト内にケーブル敷設する古い技術 Jetting(空気圧送)とPLUMETTAZ社の製品の紹介」 エイテック株式会社 小林正資	14:10～14:40 「トレンチャーを活用した施工の手引き(第2版改訂)の概要」 国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 技術開発調整監 付 寒地機械技術チーム 主任研究員 永長 哲也	14:10～14:40 「無電柱化の防災・減災における役割と推進に向けた合意形成のポイント」 国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 道路環境研究室 主任研究官 根津 佳樹	14:10
14:40				14:40
15:00	15:00～15:30 「無電柱化の海外事例～ヨーロッパを中心に～」 NPO無電柱ネット東京支部理事 前川 充	15:00～15:30 「宅地開発における無電柱化推進の取組について」 東京都 都市整備局 市街地整備部 区画整理課(宅地開発無電柱化担当) 指導調整担当課長 阿部 茂	15:00～15:30 「次期無電柱化推進計画の策定に向けて」 (一財)日本みち研究所専務理事・当NPO顧問 森山誠二	15:00
15:30				15:30
15:50	15:50～16:20 「デンマークの無電柱化の歴史と施工事例」(WEB) 国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 地域景観チーム 主任研究員 岩田圭佑			15:50
16:20				16:20

7/23(水) ■■■

13:10～13:40 「面整備における無電柱化の推進について」

国土交通省都市局都市計画課開発企画調整官 江川亜由美

14:10～14:40 「ダクト内にケーブル敷設する古い技術 Jetting(空気圧送)とPLUMETTAZ 社の製品の紹介」

エイテック株式 会社小林正資

15:00～15:30 「無電柱化の海外事例～ヨーロッパを中心に～」

NPO 無電柱ネット東京支部理事 前川 充

15:50～16:20 「デンマークの無電柱化の歴史と施工事例」(中継)

寒地土木研究所地域景観チーム 主任研究員 岩田圭佑

7/24(木) ■■■

10:30～11:00 「北海道における無電柱化の日イベントの紹介」

国土交通省北海道開発局建設部道路維持課防災第1係長 矢野洋介

11:20～11:50 「無電柱化推進のあり方検討委員会」で問題になっていること」

放送大学教授 NPO 無電柱ネット副理事長 松原隆一郎

13:10～13:40 「千葉県芝山町川津場地区官民連携事業における無電柱化の取組」

芝山町役場企画空港政策課市街地整備係係長 平山健太郎

14:10～14:40 「トレンチャーを活用した施工の手引き(第2版改訂)の概要」

寒地土木研究所寒地機械技術チーム主任研究員 永長哲也

15:00～15:30 「宅地開発における無電柱化推進の取組について」

東京都都市整備局市街地整備部指導調整担当課長 阿部茂

7/25(金) ■■■

10:30～11:00 「無電柱化の取組について」

国土交通省道路局環境安全・防災課課長補佐 藤井久暢

11:20～11:50 「無電柱化最前線～住宅開発での無電柱化事情～」

NPO 無電柱ネット理事・事務局長 井上利一

13:10～13:40 「高圧水(海水)を用いたFloating 工法と PLUMETTAZ 社の WATUCAB の紹介」

エイテック株式会社 小林正資

14:10～14:40 「無電柱化の防災・減災における役割と推進に向けた合意形成のポイント」

国土技術政策総合研究所道路交通研究部道路環境研究室主任研究官 根津佳樹

15:00～15:30 「法定第3期無電柱化推進計画の策定に向けて」

日本みち研究所専務理事 NPO 無電柱ネット顧問 森山誠二

■ ■ ■ 無電柱化推進展ミニセミナー 各講演の概要報告 ■ ■ ■

8/7の東京活動委員会 前川理事の報告から

7/23(水)の講演

「面整備における無電柱化の推進」 国土交通省 都市局 江川亜由美 企画調整官

- ・無電柱化推進計画は来年度以降の新計画へ向けて準備中であり、各所で制度の継続・見直しが進行中。
- ・開発許可や事前相談の早期段階で、施工者・開発事業者が電線管理者へ無電柱化の検討を通知・相談するよう指導・働きかけを徹底。
- ・電線管理者が開設費用の約1/3を負担する制度(2022年1月以降)
- ・「無電柱化街づくり促進事業」による国の間接補助(国費負担1/2)などで、民間事業者の負担を1/3～1/5程度まで軽減。
- ・自治体によって補助制度の有無・整備状況に差があり、補助制度未整備の地域では早めに自治体への制度導入や相談を行うことが推奨されている。



【資料】市街地開発事業における無電柱化推進のためのガイドライン【Ver. 1.3】(令和7年7月)

👉 <https://www.mlit.go.jp/toshi/city/sigaiti/content/001899416.pdf>

【資料】開発事業における無電柱化推進のためのガイドライン【Ver.1.2】

👉 https://www.mlit.go.jp/toshi/city_plan/content/001611894.pdf



【動画紹介】国土交通省都市局さまの講演(限定公開) <https://youtu.be/toKFq-daH2A>

「無電柱化の海外事例～ヨーロッパを中心に～」 NPO 無電柱ネット 東京支部 前川充 理事

- ・欧米でも100年前は架空(かくう)線が標準だった。
- ・景観と防災の観点で海外は地中化に切り替えた。
- ・水道、排水、ガス、は地中なのに、なぜ電線・通信線は架空のままか。
- ・架空線と電柱は、空を汚す「公害」である。
- ・電力会社・通信会社は「公害」を垂れ流して利益を得ている。
- ・日本の地中化は海外の3倍割高。
- ・地中化する義務は電線事業者にある(道路事業者ではない)。
- ・電線事業者は海外の手法を真似て低価格化、短期事業化を進めるべし。
- ・行政と住民が声をあげ、推進しよう。
- ・まずは行政、住民、電線事業者で勉強会を・国土は北海道の半分ほどで人口600万人。



【動画紹介】前川理事の講演(限定公開) <https://youtu.be/0Kz9tIts0No>

※無電柱化推進展の際、音声不良により8/7の東京活動委員会でのダイジェスト版を案内いたします。

「デンマークの無電柱化の歴史と施工事例」(デンマークから中継) 寒地土木研究所地域景観チーム 岩田圭佑 主任研究員

- ・国土は北海道の半分ほどで人口600万人。
- ・低圧配電線の大半が地中化されている。
- ・1970年代に幹線道路で地中化が進行。

- ・住宅街は1999年の大規模ハリケーンを契機に地中化が加速。
- ・電力事業者主体で進め、自治体との連携で道路管理・照明更新と併せて施工。
- ・費用は電気料金収入を中心に賄われ、市民の環境意識が高い。
- ・法的根拠として電力事業法や自治体条例が存在。
- ・水流や空気圧を用いて管路にケーブルを通す最新工法も採用。
- ・安全管理は日本より緩いが効率性重視(結果的に安価)。
- ・EV充電施設の整備も並行して進め、クリーンエネルギー社会を推進。



ご本人のモニター映像から

【動画紹介】岩田さまの講演(限定公開) https://youtu.be/J_SclH6DWZE

7/24(木)の講演

「北海道における無電柱化の日イベント」 北海道開発局 建設部道路維持課 矢野洋介 係長

- ・北海道全体で市町村の約3割が無電柱化に取り組んでいるが、地中化率は約2%。
- ・「無電柱化の日」に合わせて全道31か所でイベント展開。
- ・ビフォー・アフター写真、目的・仕組み・コスト等の解説。
- ・VRで電柱のない街並みを体験。
- ・ARで地下埋設物を3D可視化。
- ・ミニチュア模型で無電柱化の街を再現。

- ・マインクラフトを用いた電柱撤去・地上機器設置体験。

・投票結果(ビフォー・アフター人気投票)

1位: 倶知安町羊蹄山を望む景観

2位: 札幌市西5丁目線(住宅街・大学近接)

3位: 小樽市中央通り(観光客の多いエリア)

- ・アンケート917件 85%以上が「無電柱化の必要性を理解できた」と回答。

【Before & Afterパネル シール投票】

国土交通省
北海道開発局

シール投票 得票数(10位まで)

1位 (194票)	2位 (186票)	3位 (155票)	4位 (135票)	5位 (88票)
倶知安町 蘭越ニセコ併走線	札幌市 北23条西4(西5丁目線)	小樽市 小樽駅前(3・2・1中央通)	札幌市 札幌市白石区(国道12号)	ニセコ町 ニセコビューザ(岩内河川線)
6位 (74票)	7位 (68票)	8位 (66票)	9位 (65票)	10位 (63票)
小平町 道の駅おびら鯉番屋前	函館市 若松(国道5号)	栗山町 中央(朝日桜岡線)	釧路市 釧路市末広町(国道44号)	当別町 石狩当別駅前

【動画紹介】北海道開発局さまの講演(限定公開) <https://youtu.be/gaD6oToFV10>

「あり方検討委員会で問題になっていること」 NPO 無電柱ネット 松原隆一郎 副理事長

- ・アジア諸国に比べて大幅に遅れており、先進国で唯一“電柱国家”のまま。
- ・地中化コストが高く(1kmあたり約1.65億円)、利益にならない。
- ・国の補助が手厚すぎ、技術革新の必要性が低下。
- ・占用許可・道路管理権限を自治体が十分に行使できていない。
- ・強い規制とインセンティブの組み合わせが必要。
- ・レベニューキャップ制度(コスト削減分を事業者利益に)。
- ・占用料を現状の200円から引き上げ(例:1万円以上)、電柱設置を抑制。

- ・電力会社の配当制限 → 無電柱化への投資を優先。
- ・法律上は「10年予告で既存電柱撤去命令」が可能であり、通達強化が鍵。
- ・役割分担の見直し、事業者責任の明確化、自治体との協調が不可欠。
- ・国が強い指導力を発揮し、事業者に実質的負担と利益誘導を両立させる政策転換が必要。

【動画紹介】松原副理事長の講演（限定公開）

<https://youtu.be/jGVlIGg0sAc>



「官民連携事業における無電柱化」千葉県芝山町役場 企画空港政策課 市街地整備係 平山健太郎 係長

- ・芝山町は人口約 6,500 人で、成田国際空港に隣接。
- ・都市計画マスタープランを策定し、住宅拠点の川津場地区で無電柱化を実施。
- ・国の「無電柱化街づくり促進事業」補助金の活用。
- ・民間事業者（山万(株)）：設計・施工・開発許可・宅地販売、施工費の負担。
- ・電線管理者（東京電力・NTT）：地上機器の設置・管理。
- ・官民連携により協議・調整がスムーズに進行。
- ・令和 6 年度：造成・無電柱化工事開始。
- ・令和 7 年度：工事完了、設備町移管予定。
- ・電力会社との協議や費用分担も制度活用で円滑化。
- ・本事例をモデルケースとし、今後も無電柱化を推進。



都市計画マスタープランにおける「拠点」

4

空港機能強化により発生する…

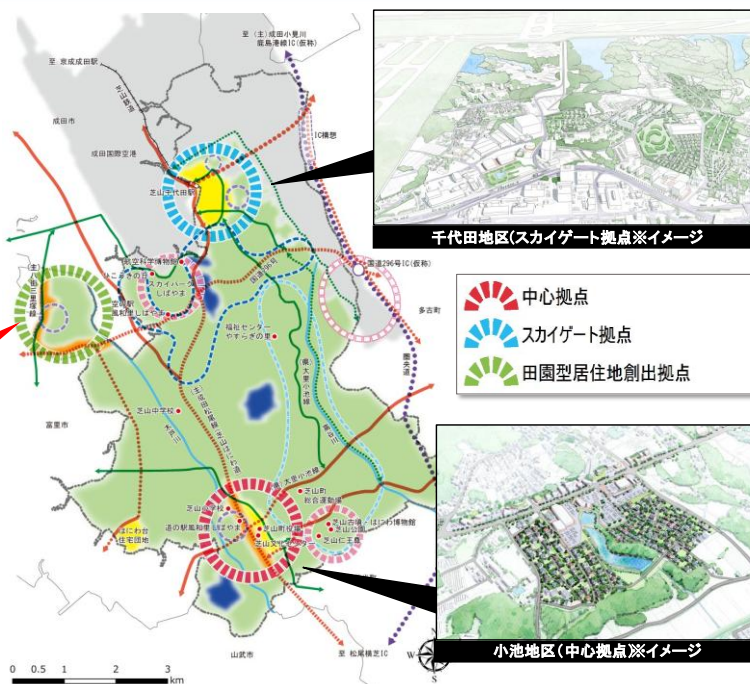
- ・滑走路新設により移転となる住民
- ・増加が見込まれる空港従業員

上記の波及効果を適切に受け止めるため、「芝山町都市計画マスタープラン（令和元年12月）」において、新たに3つの住宅系拠点を位置付けました。



川津場地区（田園型居住地創出拠点※イメージ）

その拠点の一つが、今回無電柱化を実施している川津場地区となります。



千代田地区（スカイゲート拠点※イメージ）

- 中心拠点
- スカイゲート拠点
- 田園型居住地創出拠点

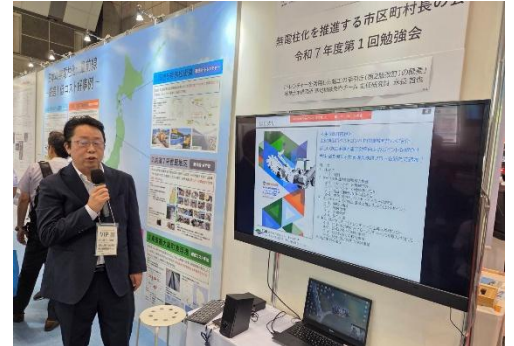


小池地区（中心拠点※イメージ）

【動画紹介】千葉県芝山町さまの講演（限定公開） <https://youtu.be/z0-sZK16QZM>

「トレンチャーを活用した施工の手引き（第2版改訂）の概要」 寒地土木研究所 永長哲也 寒地機械技術チーム主任研究員

- ・2024年3月に「ケーブル埋設用掘削機械(トレンチャー)を活用した施工の手引き」を改訂。
- ・改訂にトレンチャー詳細や施工ポイント、導入検討手順を追加。【参考資料】 <https://kikai.ceri.go.jp/download/>
- ・国内使用事例:赤松街道(函館)、北海道高速道路など。【参考動画】 <https://www.youtube.com/watch?v=Zp8evShshSg>
- ・掘削幅:200～610mm、掘削深さ:700/1,000/1,200mm
- ・施工速度:1日40m程度(従来工法は15m)
- ・ベルトコンベア付きにより掘削土砂を自動排出し、作業効率が大幅向上。
- ・冬季施工は困難(積雪・凍結でタイヤが滑る)。
- ・精度:掘削幅・深さの精度は高く、二段掘削も可能。
- ・コスト削減:掘削断面が小さいため土量削減・コストダウン。
- ・新技術登録を進め、普及促進と改良を継続。



【動画紹介】寒地土木研 寒地機械技術チームさまの講演（限定公開） https://youtu.be/3_q_wfokjaM

「宅地開発における無電柱化推進」 東京都 都市整備局 市街地整備部 阿部茂 指導調整担当課長

- ・国の無電柱化街づくり促進事業に合わせ、補助率4/5、上限2000万円に拡大。
- ・電線管理者が地上機器費用を負担する制度を導入。
- ・令和5年度:面積要件撤廃:3000㎡以上の開発も対象(上限6000万円)。
- ・住宅を主用途とする開発(マンション・複合ビル含む)まで対象を拡大。
- ・制度利用は令和2年度2件 → 令和6年度18件に増加。
- ・認定表彰制度(令和5年度～):積極的な事業者を認定・公表(現在7社)。
- ・事業件数がまだ少なく、電力・通信会社との調整も難航する場合がある。
- ・経済的支援が進んだ一方、時間的コスト(協議の長期化)が課題。
- ・私道での無電柱化は任意事業で100%同意が必要なため進みにくい。
- ・制度の普及により事業規模が拡大すれば、関係事業者の体制整備も進み、円滑化が期待される。

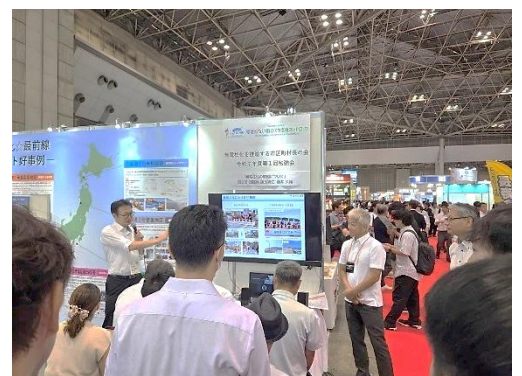


【動画紹介】東京都 都市整備局さまの講演（限定公開） <https://youtu.be/G012qeRDsHY>

7/25(金)の講演

「無電柱化の取組について」 国土交通省 道路局 環境安全・防災課 藤井久暢 課長補佐

- ・第8期無電柱化推進計画は2024年度末で終了した。
- ・R3～R7で完了延長559km。
- ・令和6年度末の整備延長は約9,975km。
- ・次期・第9期計画(令和8年度以降)を現在策定中。
- ・合意済み3,727kmも含め、目標総延長は15,815km。



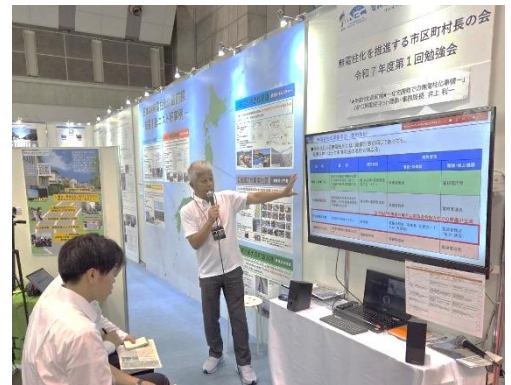
- ・特に緊急輸送道路(約 2.2 万 km)や市街地を優先。
- ・未撤去電柱は全国で約 5,800 本残っており、撤去促進が必要。
- ・コンパクトなマンホールを採用、トレンチャーや地中探査技術の活用で コスト削減。
- ・浅層埋設、側溝利用、低コスト管路材導入を進める。



【動画紹介】国土交通省 道路局さまの講演（限定公開）<https://youtu.be/Mt7etuLfJnk>

「無電柱化最前線～住宅開発での無電柱化事情～」 NPO 無電柱ネット 井上利一 事務局長

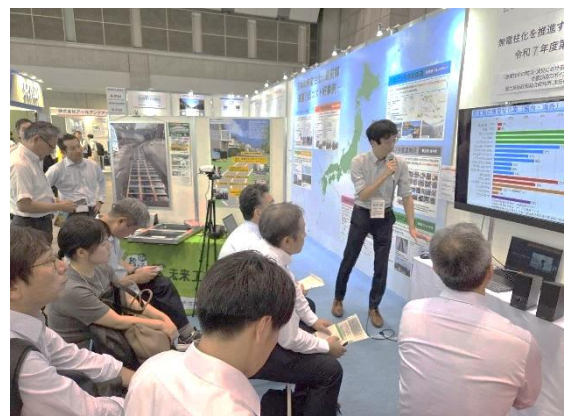
- ・道路の無電柱化だけでは削減が進まないため、住宅開発段階での対応が必要。
- ・令和 4 年：国(都市局)が「無電柱化街づくり促進事業」を創設。
- ・3000 m²未満の開発：事業者負担は 1/5(例：1000 万円→200 万円)。
- ・3000 m²以上の開発：事業者・自治体・国で 1/3 ずつ負担(上限 6000 万円)。
- ・採用例：東京都、千葉県芝山町、長野県御代田町など。
- ・要請者負担方式(デベロッパー主体の共同工事でコスト削減・工期短縮)。
- ・関係事業者(電力・通信会社)との調整が複雑で時間がかかる。
- ・制度の活用により住宅無電柱化は進展しているが、予算制約や自治体間の対応差が課題。
- ・コスト削減のため規制緩和・仕様の柔軟化が必要。
- ・浅層埋設の普及、管材選択の自由度拡大、関係機関の協力強化が期待される。



【動画紹介】NPO 無電柱ネット 井上事務局長の講演（限定公開）<https://youtu.be/AJY8oosEvyk>

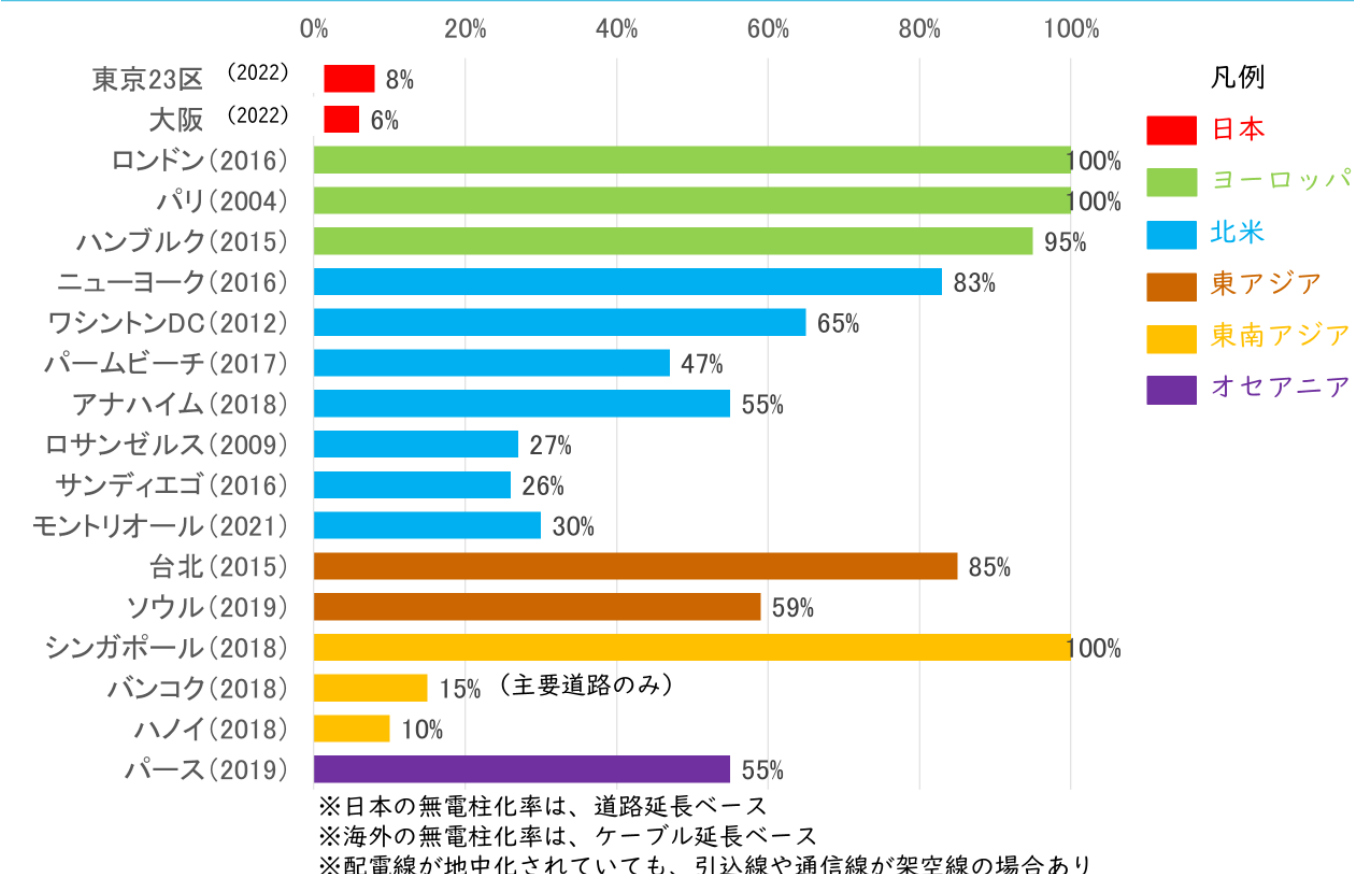
「無電柱化の防災・減災における役割と推進に向けた合意形成のポイント」 国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 道路環境研究室 根津佳樹 主任研究官

- ・2018～2019 年の関東地方の台風で 1,000～2,000 本の電柱が倒壊し、復旧に最長 280 時間。(約 10 日)を要した。地中化区間では被害・復旧時間とも大幅に軽減された。
- ・無電柱化は水没に弱いとの懸念があるが、防水措置・地上機器の嵩上げ・設置位置の工夫によりリスクの低減が可能。
- ・道路管理者を中心とした合意形成の手順や法制度、事例集をまとめたガイドラインを公表。地方自治体の経験不足を補う狙い。
- ・防災性に加え、観光地や都市部での景観向上、歩行空間の確保、街並み形成の観点からも無電柱化の意義が強調された。
- ・課題：○自治体による導入格差
 - 水害対策のさらなる強化
 - 財源確保(電気料金上乗せ方式などの検討)
 - 地元住民・事業者との合意形成の重要性



都市別の無電柱化率（国内・海外）

国土技術政策総合研究所



- ・ヨーロッパは電線敷設の初期段階で無電柱化。
- ・北米・オセアニアは、暴風雨被害を契機に無電柱化推進している都市が多い。
- ・アジアは経済成長にともない、無電柱化を推進している都市が多く見られる。

【動画紹介】国土技術政策総合研究所(国総研)の講演（限定公開） <https://youtu.be/X15p2c3InFk>

「法定第3期無電柱化推進計画の策定に向けて」日本みち研究所専務理事 NPO 無電柱ネット 森山誠二

顧問

- ・無電柱化推進の法律に基づく計画は平成28年以降で、次は法定第3期。
- ・レベニューキャップ制度を活用し、電力・通信双方の費用負担とインセンティブ(利益付与)を整理する必要がある。
- ・「一緒に埋めなければ次回は自力で埋設」とする12条規定を強く運用すること。
- ・道路管理者・電線管理者・自治体間で認識が乖離しており、共通理解と運用ルールの整理が急務。
- ・第3期計画は「完了ベース」での目標設定へ転換し、優先区間を明確化。
- ・無電柱化推進には、制度改正・費用負担の適正化・現場運用の徹底が不可欠。
- ・これらが整えば、10年以内の大幅な無電柱化の進展が期待できる。



【動画紹介】NPO 無電柱ネット 森山顧問の講演(限定公開) <https://youtu.be/HWTzVu5q3sI>

【協賛企画・製品発表】エイトック株式会社

7/23(水) ジェットティング技術 <https://youtu.be/n39wIitUvus>

7/25(金) フローティング工法 https://youtu.be/tygBi_PvV6Q

GeoRhizome Co., Ltd.
The Network for Non Pole Community NPO

• **MULTILINGUAL WORKSHOP** •

MAKE JAPAN MORE BEAUTIFUL

**Redesigning Japan: One
Less Utility Pole at a Time**

Event highlights:

- Discover the Hidden Power of Pole Removal!
- Voices from Around the World!
- Step into the Spotlight with our Role-Play Workshop!

Registration Form | 登録フォーム





August 18th (Mon)
8月18日 (月)

14:00-16:00 JST

GeoRhizome Osaka Office
ジオリゾーム大阪営業所



株式会社ジオリゾーム
NPO電線のない街づくり支援ネットワーク

• **多言語ワークショップ** •

日本の空を 取り戻そう

一本の電柱から
未来を変える

イベントの見どころ

- 無電柱化の知られざる力を発見!
- 世界から集まる多様な声!
- ロールプレイ・ワークショップでまちづくりに挑戦!

Location's Map | 位置マップ



インターン生企画 多言語ワークショップ

今回、10日間のプログラムでインターンに参加していただいたベトナムの留学生のアインさんに海外のかたとの交流を目的に無電柱化を語る企画を考えていただきました。

彼女自身、高校・大学などでディスカッションをすることを経験されていることもあり、短期間ながらも的確で充実したミーティングを実施することができたので、簡単にその内容をご紹介します。※彼女の作成したレポートは、英語版もあります。詳細は当NPOのHPで後日紹介させていただきたいと思います。

1. 基本情報

日時：2025年8月18日（月）14:00-16:00

場所：ジオリゾーム大阪オフィス 1F 会議室

司会：Anh Van Bui

参加者：James Cusick、Junko Cusick、塚田泰二、間瀬天翔

2. スケジュール

14:00-14:15：アイスブレイカーと自己紹介

14:15-14:30：フリーディスカッション

14:30-15:15：ショートプレゼンテーションとQ&A

15:15-15:25：休憩時間

15:25-16:00：ロールプレイング

(1) ステークホルダーの役割説明 (5 分)

(2) ブレインストーミング (10 分)

(3) 個人プレゼンテーション (20 分)

16:00-16:10：ワークショップの振り返りとフィードバック

3. ワークショップの概要

ワークショップは自己紹介から始まり、参加者が電柱撤去への背景と関心を共有した。災害防止から街の美化まで、人々がこの問題の異なる側面を重視していることが明らかになった。

フリーディスカッションセッションでは、参加者が日本、ベトナム、アメリカでの電柱撤去活動を比較した。重要な歴史的事例として、キューシク氏より、1888 年の大吹雪の後、雪と氷が電信線と電線を破壊したことを受けて、ニューヨーク市のすべての電柱が撤去された事例が紹介された。

ショートプレゼンテーションと Q&A セッションでは、5 カ国の目抜き通りの写真を使ったクイズゲームが行われた。参加者は、ベトナムのホーチミン市の「蜘蛛の巣」のような架空線に驚き、街灯、信号機、Wi-Fi アクセスポイントを統合したソウルの「スマートポール」システムに感動した。中には日本車が多く駐車している点から南アフリカ（正解はモザンビーク）と回答したケースもあった。ロンドンの写真では、オランダと回答するケースもあった。



(Picture' source: Google Image)

(Pictures' source: Google Image)



ホーチミン市 (ベトナム)



上海 (中国)



マプト (モザンビーク)



ソウル (韓国)



ロンドン（イギリス）

続いて、電柱撤去の利点と課題についてのプレゼンテーションが行われた。

- ・利点：災害対応力（台風、地震、嵐からの保護）、地域安全性（電磁波曝露の軽減）、景観改善（すっきりとしたスカイラインと開放的な眺望）
- ・課題：経済面（高額な初期投資、維持費用、資金調達の負担）、技術面（複雑な設置工事、修理時間の長期化、地下空間の制限、工事の担い手不足）、地質面（岩盤地域や地下水位の高い地域での施工困難）

ロールプレイングセッションでは、参加者が異なるステークホルダーの役割を担った：

- ・市役所職員（James）：予算配分・資源配分・役割分担に焦点を当てた。競争原理が必要であるとともに、実行をサポートするNPOの役割が重要であるとした。
- ・地域住民（Junko）：安全性と美化を重視した。災害対策が重要であることはもちろんだが、無電柱化をもっとビジネスとして転嫁すべき。使わない電柱をセメント材料としたり、発展途上国に無電柱化技術を提供しては。あと電柱・電線がはびこっている場所＝治安の悪い場所（ブローケン・ウインドウズ・エフェクト）・poor（貧しい）場所というイメージからの払拭。現在の日本で問題になっている空き家問題と同様に有効な政策が実行されず、おざなりになっている現状。優先順位をつけながら空き家問題と一緒に解決していく必要あり。
- ・NPO代表（Tsukada）：コミュニティ参加を支援した。高圧線による森林火災のリスクはないのか。電磁波の影響はないのか。日本の被覆技術のよさを活かした浅層埋設での無電柱化ができないか。←高圧線の浅層埋設は難しい。リスクが高い。
- ・観光客（Tsubasa）：美観に対する来訪者の視点を共有した。オーバーツーリズム・リッチな旅行者には観光税を引き上げて予算の運用にあててはどうか。治安・安全面も重視したい。
- ・電力会社職員（Anh）：電柱・電線は、外部不経済（いわゆる公害）であることの認識の欠如、コスト、技術的問題、運用に関する懸念を提起した。

これらの視点を通じて、グループは電柱撤去が日常生活と災害対応力にとって重要である一方、財政的・技術的障壁が残っていることを認識した。参加者は、成功的な実施には政府、民間セクター、NPO/NGOの協力が必要であり、大規模な電柱撤去を可能にするための新しい資金調達手段を創造的に生み出す必要があると結論づけた。



4. 感想

James Cusick：アンさん、ワークショップを開催していただきありがとうございます。あなたは会議の進行に素晴らしい仕事をしたと思います。個人的には、意見を提供し、他の参加者から学ぶ機会が十分にあると感じました。

以下にリストアップするいくつかのアイデアがあります。

しかし、その前に、メモを取ることにについて、ちょっとした提案をします。私の経験では、ファシリテーターは通常、セッションの指導に忙しすぎて、大量のメモを並行して取ることができません。多くの場合、人々はボランティアにメモを取ってもらうことを依頼します。通常、誰かが申し出ます。これにより、ファ

シリテーターはやるべきことがあり、ファシリテーターは会議の流れに集中できるようになります。もちろん、ファシリテーターもメモを取り、ボランティアのメモテイクと組み合わせることができます。さて、アンダーグラウンド化（電線類地中化・無電柱化、以下同じ）についての考えをいくつかご紹介します。

1. **押して引く** NPO や他のアンダーグラウンド化の提唱者は、その取り組みを推進できると思います。ただし、コミュニティには、このアプローチを取り入れたいプレイヤーもいるはずです。これらのつながりを構築することは、成功に不可欠です。
 2. **ショーケースツアー** おそらく、興奮を高める方法の一つは、(大阪で打ち合わせした) オフィスを訪れた際に見た梅北公園エリア (p.11 のチラシの写真参照) のようなサクセスストーリーを人々に見せることです。架空電線が乱立する旧態依然な状態の地区と、きれいに整えられたエリアと比較して見ると、美的優位性が明らかになると思います。
 3. **メディア戦略** ワークショップに参加したいが、その日は忙しかった知り合いがいます。彼はメディア問題に関して非常に経験豊富で、来週会い、NPO の地下活動を促進するための彼のアイデアについて話し合う予定です。この会議の結果についてアドバイスします。
アンダーグラウンド化を推進するにあたっては、例えば、日本を美しくする、安全性を高める、経済活動を拡大するなど、ほとんどの人が共感できるリードメッセージから始めるべきだと思います。このようなメッセージは、直接的で、かつ明確で、魅力的であり、同じ方法で頻繁に繰り返されるべきです。
 4. **一般的な議論を解除する** コスト、優先順位、規模など、特定の共通のテーマに沿って人々がアンダーグラウンド化に抵抗していることに気づきました。これらの一般的な議論をいくつかリストアップし、前もって答えを提供しておく、と人々が地下化が機能しない理由について考える必要がなくなります。
 5. **明確な財務モードを提供する** 地下化のコストを明確に記載する必要があります。たとえば、新築のキロメートルあたりのコスト、既存面積の転換のキロメートルあたりのコストなどです。また、これらの費用を賄うための潜在的な資金調達モデルは何かを考える。
 6. **災害復旧のメリットを定量化する** 投資要件が明確である必要があるのと同じように、メリットも明確である必要があります。たとえば、理論的には、都市の架線施設が地下に埋設されているのを考えた場合、災害後の初期対応者の予想速度はどのくらいになるのか。あるいは、回収コストの削減などはどうなるのか。富士山の美しい写真スポットの観光客人気に数字を付けてもいいかもしれません。
これらは考慮すべきアイデアのほんの一部です。
繰り返しになりますが、アインさんにお会いできてとてもうれしく、残りの研究と将来の学業の幸運を祈ります。
- ※Cusick さまの文章は英語でいただきましたが、グーグル翻訳などを使って日本語訳したものを掲載させていただきます。

Junko Cusick: “まずはアインさん、皆さまお疲れ様でした。アインさんにはワークショップの前に一度お会いしたことがあるのですが、会ってすぐ彼女の聡明さ、明るさに感動し、加えてとても国際性豊かなでオープンな方とお見受けしました。ワークショップではまさに私が感じた通り、それ以上の出来栄で、とても楽しく参加させて頂きました。

私達の勝手な素人の意見にも関わらず、丁寧に進めて下さり、また堅苦しくなく自由に述べさせて頂けたのも、NPO無電柱ネットさんのカルチャーと塚田さんが機会を作って下さったおかげだと感謝しています。ワークショップの企画、準備、日英両方の言語での説明、進行など、慣れていらっしゃるとは言え、大変だったと思います。彼女のような優秀な若者が日本にいて下さることはとても嬉しいことですし、これからはますます自由に情熱的に勉強その他に打ち込まれ、ご活躍されることをお祈りしています。

無電柱化は災害大国日本にとって、重要な課題にも関わらず、少しずつしか進まないのがはがゆいですが、国際的な視野からの話し合いもきっと役に立つと思います。カジュアルな会合でもまた皆さんとお会いで

き、少しでも地中化が、ベストな方向へと繋がっていけばと祈願しています。この度はありがとうございました！“

塚田泰二：インターンの指導者という立場も兼ねて参加させていただきました。

まず最初に、私たちの今回の企画に共感をいただき、色々な助言とお知り合いのご友人に声をかけていただき、無電柱化についてのご意見まで集めていただいたキューシックご夫妻に深く感謝申し上げます。

本題ですが、今回の運営・司会を担当されたアインさんに敬意を表したいです。ファシリテーターとしての役割を立派に務められ、深みのある、かつ楽しいミーティングになり、良い成果を得ることができました。インターンに費やす時間が80時間というスケジュールの中で、企画・交渉・運営・振り返りまでをしっかりと進めていただきました。

本人にうかがうと、このようなディスカッションのは結構経験されているとのこと、日本の学生とは違う面を感じました。

今回のワークショップの具体的な評価に移ると、

グループディスカッションという運営をしっかり身に付けて実行しているところ

タイムスケジュールの時間配分や各セッションを行う意味が参加者に伝わる構成になっていた。

参加者が緊張することなく、かつ各自の意見を引き出せるような構成になっており、「これぞディスカッション」という時間を共有することができた。

特に4. のロールプレイングでは、参加者に様々な立場で無電柱化を考えさせるアイデアを設け、各自の発表後には、発表者以外が意見を補うという、活発な議論が事前に創造できるような構成にしていたところが印象に残りました。

今回のワークショップに参加いただいたキューシックご夫妻は、無電柱化に精通されていて、関心の深いからだだったので、アインさんの企画に多大な後押しをしていただいた点もありましたが、お二人の意見をうまく引き出してよいミーティングになったのもアインさんの考えたこの構成と話しやすい雰囲気の演出があったのでの成果と考えています。

今回のワークショップの企画は、今後の日本の学生が運営する学生討論会にも使えそうですし、海外のかたと議論を深めるミーティングにも応用できる素晴らしい企画だと思います。私自身大変参考になり、勉強になりました。

アインさん、Good job：グッジョブでした。ありがとうございます！

間瀬天翔：私にとって今回のワークショップは、無電柱化について日本のみならず世界にも視野を広げるきっかけとなりました。日本の電柱に溢れた景観を他の国の景観と写真を通して直接比較することは視覚的にも刺激になりました。ただ受動的に学ぶのではなく、クイズや別々の立場に立って無電柱化について討論する時間など、能動的に働きかける機会が数多く用意されていたため、楽しみながら知識を深めていくことができました。私自身、海外の方を直接招いてでの議論は初めてなので緊張しましたが、すごく良い経験になりました。Cusick ご夫妻は無電柱化について非常に詳しい方々で、無電柱化に関する知識だけではなく、世界中をまたにかけてお仕事され、旅して培った経験や、大学で教えておられる教授ならではの研究や専門知識から生まれる斬新なアイデアを沢山出していただきました。私には思いつかないような意見や事実、私とは異なる意見を伺えたことも非常に有意義でした。私もいつかそのような深い知識と経験をもって議論の場に臨めるようになりたいと思いました。今回私をこのような場に参加させていただいた NPO の塚田さん、企画運営に司会まで務めてくださったアインさん、お忙しい中参加していただいた Cusick ご夫妻、本当にありがとうございました。

Anh Van Bui：今回のワークショップでは、まず「なぜ」電柱を撤去する必要があるのかを理解することの重要性を学びました。目的を明確にすることで、社会的な説得力が高まり、より多くの支持を得ることができ

ます。世界各国の事例研究の紹介も非常に有益であり、防災、安全性、都市景観といった観点から、各国がどのように課題に取り組み、どのような要因が決定を後押ししたのかを知ることができました。また、先進国の経験が資金や技術力に限界のある途上国にも適用できるのかという点についても考えさせられました。さらに、創造的な資金調達の方法についての議論も印象的でした。例えば、日本政府による空き家や空き地の売却、高度な地中配線技術の輸出といったアイデアは、革新的な発想が新たな実行の機会を生み出せることを示しています。今回のワークショップは、電柱撤去における課題と可能性の双方をより深く理解する機会となりました。また、ワークショップでは司会を担当し、進行や参加者対応で手一杯になり、十分にメモを取れず、内容をまとめる際に非常に困りました。今後は、ワークショップやミーティングでも自分でしっかりメモを取れるよう、事前に練習や工夫を重ね、効率的に記録できる力を身につけたいと思います。



Event Brochure (Draft)

イベントパンフレット (案)

<u>GeoRhizome Co., Ltd.</u> The Network for <u>Non Pole</u> Community NPO Multilingual Workshop MAKE JAPAN BEAUTIFUL AGAIN or REDESIGNING JAPAN One pole at a time Event highlights: 🔦 Discover the Hidden Power of Pole Removal! Uncover how removing utility poles helps prevent disasters, beautify cityscapes, and build smarter, safer neighborhoods. 🌐 Voices from Around the World! Join an exciting discussion with participants from Japan, America, Vietnam, and more 🎭 Step into the Spotlight with Our Role-Play Workshop! Become a city planner for a day! Work in teams, share ideas, and pitch creative ways to promote pole-free streets across Japan. 📅 Date: August 18th (Mon) 🕒 Time: 14:00-16:00 JST 📍 Location: <u>GeoRhizome Osaka Office</u> 🆓 Admission: Free 🗣️ Languages: English • Japanese 📄 Registration Form	株式会社ジオリゾーム NPO 電線のない街づくり支援ネットワーク 多言語ワークショップ 日本の空を取り戻そう or 一本の電柱から未来を変える イベントの見どころ 🔦 無電柱化の知られざる力を発見！ 電柱をなくすことで、災害を防ぎ、街の景観を美しくし、よりスマートで安全な都市をつくる方法を学ぼう！ 🌐 世界から集まる多様な声！ 日本、アメリカ、ベトナムなど、さまざまな国の参加者と一緒に、未来のまちづくりについて語り合おう！ 🎭 ロールプレイ・ワークショップでまちづくりに挑戦！ あなたも一日限定の都市計画担当者に！チームでアイデアを出し合い、日本で無電柱化をどう広めるかを提案しよう！ 📅 日時：8月18日(月) 🕒 時間：14:00～16:00 (JST) 📍 会場：ジオリゾーム大阪営業所 🆓 参加費：無料 🗣️ 使用言語：英語・日本語 📄 登録フォーム：[ここに QR コードまたはリンクを挿入]
---	---